Oh!Me
オー！ミー

インターネットと連動した【滋賀生活情報紙】

MAINICHI 毎日新聞

この情報紙は「滋賀ガイド」と提携しています
滋賀ガイド www.gaido.jp

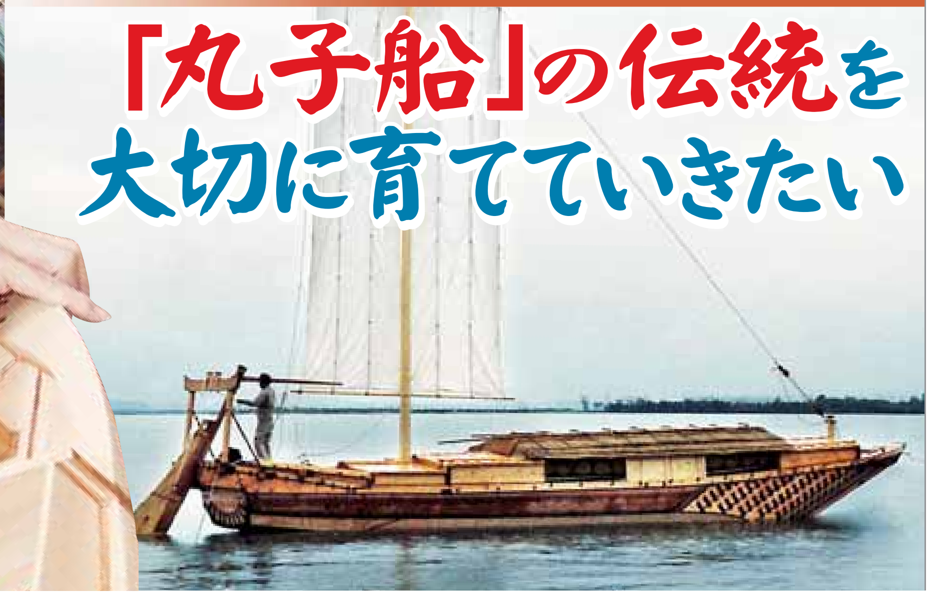
vol.401・1月26日号　毎週木曜発行　4面にプレゼント情報！
●Oh!Me編集室／株式会社ヤマプラ：近江八幡市桜宮町294 TEL0748-34-8872 FAX0748-34-8927
●広告／滋賀毎日広告社：大津市打出浜3-16 TEL077-522-2603　発行部数：100,000部
●発行／毎日新聞大阪本社開発宣伝部：大阪市北区梅田3-4-5

素敵な人

船大工　松井（まつい）光照（みつてる）さん（大津市在住・31歳）

琵琶湖特有の木造船

「丸子船」の伝統を大切に育てていきたい



松井さんは大津市本堅田にある松井造船所の３代目。松井造船所の創業者である祖父の故・三四郎（さんしろう）さんの後を継ぎ、父の三男（みつお）さんと共に、今では造られることが少なくなった琵琶湖特有の木造船「丸子船（まるこぶね）」の伝統を守り続けている。

江戸時代以来の湖上交通の主役

丸子船は、主に江戸時代に湖上交通の手段として使われていた木造船。重木（おもぎ）と言われる、丸太を半分に割った木を両側面に付けて浮力とバランスを保ち、水深が浅いところでも航行できるようになっている。重いものを載せても沈まないよう、底は浅くなっている。

昔は1000隻以上の丸子船が湖上を行き交っていたが、今では１隻も見られなくなっている。堅田には何十軒も造船所があったが、今では木造船を造っているのは松井造船所だけだ。

サラリーマンから船大工に

子どものころから祖父や父が船を造る姿を見て育ち、自身も物を作ることが大好きだった。だから、いつしか後を継ぎたいと思うようになっていた。だが、**「木造船造りは仕事が減っているし、生活も厳しい」**と親から反対されてきた。

大学卒業後、東京で不動産会社に就職したものの、松井さんの秘めた思いは変わらなかった。

光照さん（右）と父の三男さん

子どものころに見た、帆に風を受けて湖上を滑る丸子船の姿が忘れられない。このままでは祖父や父が守ってきた丸子船の伝統がなくなってしまう……。この思いを両親に打ち明け、粘り強く説得。１年間東京で働いた後、滋賀に戻って造船を学ぶことになった。

祖父は特に反対はしなかったが、祖父と一緒に仕事ができたのは１年ほどだった。指導というよりは、じっとそばで見ていて教えてくれた。その目が忘れられないという。

三男さんは**「最初のうちは反対でしたが、一緒にやるようになって１人でできないこともできるようになり、今は心強く思っています」**という。

昔は造船の技術を盗まれないように図面は書かなかった。だから今回も、自分の目で見て仕事を覚えるように仕込まれた。

初めて造ったのは京都迎賓館に納める川舟だった。祖父や父の指導を受けながら３人で全長５㍍の川舟を造り上げた（05年）。これとは別だが、琵琶湖博物館に展示されている全長17㍍の丸子船も松井造船所で造られたものだという。

部品や道具も手作り

木造船の注文は今、年に１～２隻。木造船造りに必要な船釘（ふなくぎ）などの特殊な部品も作るしかなく、木を削るカンナさえも手作りだ。

さらに、木造船だけではやりくりできず、鉄製の船の修理をすることも多く、神社の鳥居の修理や水車造りなども手がけている。

「日本の風景に合うのは木造船です。近江八幡の水郷めぐりなどで、風情ある丸子船に乗ってのんびりと揺られてみたいですね」と言う。

祖父の三四郎さんは生前、数多くの木造船の模型を残しているので今、大津市伊香立にある安曇川流域・森と家作りの会のモデルハウス「もりいえ」で、この木造船の模型を展示する計画が進められている。

（取材・澤井）

詳しくは▶www.gaido.jp/4011

松井造船所
●大津市本堅田1-1-32　●TEL：077-572-0329

滋賀生活情報紙【Oh!Me】はお近くの毎日新聞販売店からお届けしています。
毎日新聞のご購読お申し込みは
0120-468-012（フリーダイヤル ヨムハ マイニチ）

3/18（日）13:30開演　大ホール
S席 3,800円
A席 2,800円
全席指定（税込）
好評発売中

金剛流能楽公演
能　金剛流　巴　ともえ
狂言　大蔵流　蟹山伏

能
シテ:今井克紀
ワキ:原　大
アイ:茂山宗彦
解説:種田道一
（シテ方 金剛流）
狂言
シテ:茂山七五三
アド:茂山逸平
アド:茂山 茂

ホ キ 駅 e+ La ぴ（P=417-115）　ロ（L=51587）CN

3/24（土）15:00開演　大ホール
大人 1,000円
子ども 500円
※小学生以上有料
全席自由（税込）

ウタのタネ in 守山 vol.2
出演:寺尾仁志 with human note
ゲスト:平 義隆 and 一般参加シンガー
500人の歌声を守山市に響かせる!!
守山から南三陸町へウタのタネを届ける

ホ キ 駅 La　好評発売中

4/4（水）18:30開演　大ホール
5,000円
全席指定（税込）

河口恭吾
ありがとうSONGS コンサート
いつもそばにいるあなたへ…
好評発売中
主な予定曲目:
桜／ハナミズキ　他
ありソン（ありがとうSONGS）コーナー
※みなさんの“ありソン”を募集しています。

主催:MIN−ON、守山市文化体育振興事業団
後援:e-radio エフエム滋賀

ホ キ 駅 e+ La ぴ（P=155-886）　ロ（L=59624）

2/2（木）3人娘★
伊東ゆかり・中尾ミエ・園まり
14:30と18:30開演／¥6,500／全席指定
大ホール＜昼公演:完売／夜公演:残席わずか＞
ホ e+ ぴ（P=149-762）ロ（L=57245）

2/4（土）17:00開演
正面玄関ロビー
鑑賞無料
ほっこりと暖まるラテン音楽の午後

overflow MORIYAMA CITIZEN HALL vol.56
Aquicorrillo アキコリージョ

取り扱いプレイガイド
■守山市民ホール 077-583-2532
■キタダレコード 077-582-3251
■駅前総合案内所 077-514-3765
■電子チケットぴあ 0570-02-9999
■ローソンチケット 0570-084-005
■LaLaツーリスト 077-581-1095（ららぽーと守山店）
■e+（イープラス）http://eplus.jp/
■CNプレイガイド 0570-08-9999

（財）守山市文化体育振興事業団　守山市民ホール　tel.077-583-2532
守山市三宅町125番地
JR守山駅西口バスのりばより「杉江循環線」「守山市民ホール線」に乗車。「守山市民ホール前」下車